

表1 歯科治療を希望した者の要介護原因疾患(重複回答)

	回答総数	脳血管疾患	悪性腫瘍	心疾患	外傷	糖尿病	骨折	痴呆	その他
全体(人)	1042	536	28	109	22	56	98	192	332
男	385	220	13	39	13	22	25	51	116
女	657	316	15	70	9	34	73	141	216
	回答総数	脳血管疾患	悪性腫瘍	心疾患	外傷	糖尿病	骨折	痴呆	その他
全体(%)	100.0	51.40%	2.70%	10.50%	2.10%	5.40%	9.40%	18.40%	31.90%
男	100.0	57.10%	3.40%	10.10%	3.40%	5.70%	6.50%	13.20%	30.10%
女	100.0	48.10%	2.30%	10.70%	1.40%	5.20%	11.10%	21.50%	32.90%

表2 年齢階級別にみた要介護の原因疾患の割合:重複回答(%)

年齢階級	脳血管疾患	悪性腫瘍	心疾患	外傷	糖尿病	骨折	痴呆	その他
~64	58.0	3.0	3.0	4.0	5.0	2.0	4.0	35.0
65	53.1	5.2	3.1	2.1	6.3	2.1	6.3	40.6
70	53.8	4.1	11.0	2.1	9.7	5.5	14.5	38.6
75	54.4	2.6	4.8	2.1	6.3	9.5	19.0	31.7
80	50.9	1.4	16.4	1.4	5.1	7.9	22.9	31.3
85~	46.0	2.0	14.4	2.0	2.7	17.1	24.2	26.5

分担研究報告書

要介護老人の摂食障害発生要因に関する研究 歯科治療を希望する要介護高齢者の原因疾患、 要介護状態、歯科疾患の発生時期についての研究 分担研究者 今村喜宣（東京歯科大学講師）

研究要旨： 歯科治療を希望する要介護者の要介護となる原因疾患はかなり以前に発生していたことが認められた。要介護状態となった時点と歯科治療の主訴の発生時期と近接しており、要介護状態となった時期からの口腔清掃等の口腔管理の重要性が示唆された。さらに、今回調査した範囲では歯科治療を希望する要介護者の要介護から歯科治療に至るまでの口腔清掃状況は良好とは言えない状況にあることが認められた。

A. 研究目的

要介護高齢者の原因疾患の発生時期と、要介護状態となった時期、さらに希望した歯科治療の対象となる歯科疾患の主訴の発生した時期を比較することで、要介護高齢者の摂食障害がどの時期で生ずるかを把握し、原因疾患、希望する歯科治療の内容についての特性を検討することで、摂食障害の発生を予防する手がかりをつかむことを目的にこの研究を行った

B. 方法

歯科治療を希望した要介護高齢者に対し、訪問歯科診療を行った際に、質問紙により、要介護となるに至った原因疾患の発生時期と要介護状態となった時期、さらに希望した歯科治療の対象となる歯科疾患の主訴の発生した時期を調査した。次に原因疾患発生時期と歯科の主訴発生時期の差、要介護状態となった時期と歯科の主訴の発生した時期の差を求めた。対象は宮城、神奈川、愛知、熊本において、平成 12 年 9 月から 11 月にかけて訪問歯科診療を受けた者のう

ち、義歯希望者 774 人、歯周治療希望者 303 人、う蝕治療希望者 249 人である。

C. 結果

要介護となるに至った原因疾患の発生時期は表 1 に示すように 1995 年以前に半数近くが発生していた。これに対し、要介護状態となったのは表 2 のように 1995 年以前では約 30%ほどで、調査年の 2000 年が年単位では最も多かった。歯科の主訴発生は表 3 のように 2000 年に 76.2%が発生し、1995 年以前は 2.4%であった。

歯科治療の内容による主訴発生時期については表 4 に示すように、義歯は歯周、う蝕に比べ 2000 年により多く主訴が発生していた

原因疾患の発生時期と歯科治療の主訴発生時期との差を年で表示したのが表 5 である。義歯の場合は原因疾患発生と同じ年に歯科の主訴も発生した者が最も多かったのに対し、歯周疾患とう蝕は原因疾患発生の 1 年後が最も多かった。累積した発生時期の差は、義歯では 50%を越えたのは 3 年であったが、歯周疾患とう蝕では 4 年と 1 年

遅い結果となった。表6は要介護状態の発生と歯科疾患の主訴の発生時期との差を年で表示したものである。表5の原因疾患との差と異なり、義歯、歯周疾患、う蝕全てにおいて、要介護発生と主訴発生が同じ年というものが最も多かった。要介護状態となった同じ年に30%が義歯の主訴が発生し、要介護となって2年以内の義歯の主訴発生は46.6%、3年以内では61.2%であった。同様に歯周疾患は24.9%、37.8%、54.1%であり、う蝕は19.5%、33.5%、51.8%であった。

また、今回歯科治療を希望した人の要介護状態となってから歯科治療までの口腔清掃状況をたずねた結果が表7～10である。痴呆と脳血管疾患では本人が自分で口腔清掃を実施していた割合は少なく、介護者がよく歯磨きをしていたと答えた割合が他の疾患に比べ多かった。また、歯科治療の主訴別では、う蝕を主訴とした者が本人が良く磨いていた割合が最も多い結果となった。しかしながら、全体として本人、介護者いずれにしても良く磨いていたという割合は40%に満たない状況であった。

D. 考察

今回の結果から、歯科治療を希望する要介護者は、その原因疾患は歯科治療年の5年以上前に半数近くが発生しており、かなり以前に発病していたことが確認できた。要介護状態となったのは歯科治療を希望した時より前3年以内が約50%で、原因疾患よりは最近のことであることがわかった。歯科治療については、希望した年と主訴の発生は76%が同じ年であり、訪問歯科治療のアクセスの良さが認められたが、5年も

前から歯科の訴えを持っていたものが2.4%あった。治療内容をみると、義歯が治療希望と主訴発生の時期が最も近接しており、歯周疾患が時期のずれが最も多い結果となった。毎日の食事との係わりから、経口摂取の可能な要介護者は義歯についてのディマンドが高いものと推察された。一方歯周疾患については要介護者においては緊急性が低いようであった。

要介護となるに至った原因疾患の発生時期、要介護状態となった時期と歯科の主訴発生時期をみると、原因疾患の発生からはかなり遅れて歯科の主訴が発生しており、原因疾患に罹病したことが直ぐさま口腔内に問題を生ずる割合は低いことがうかがわれた。一方要介護状態となった時期と歯科の主訴発生の時期はかなり近接しており、要介護状態となることで、口腔内も何らかの変化を生じせしめ、あらたな歯科疾患や、これまでであった歯科疾患を増悪させることが推察された。要介護状態となった時期から口腔の管理が特に必要となることが示唆された。

口腔清掃状況は原因疾患において脳血管疾患や痴呆で本人の清掃状況は芳しくなく、介護者が磨いている割合が他の疾患に比べ多かったが、その割合は20%ほどでとても十分といえる状況にはなかった。また、希望した歯科の疾患別に口腔清掃状況をみると、う蝕治療を希望した者本人が良く磨いていたという割合が他の疾患より多い結果となったことから、口腔清掃の内容の問題が提起される知見ではないかと思われる。いずれにしても要介護者の口腔清掃状況は良好とはいえない状態であった。

E. 結論

歯科治療を希望する要介護者の要介護となる原因疾患はかなり以前に発生していたことが認められた。要介護状態となった時点と歯科治療の主訴の発生時期と近接しており、要介護状態となった時期からの口腔管理の重要性が示唆された。要介護者の希望する歯科治療では、義歯が治療希望と主訴発生の時期が最も近接しており、経口摂取している要介護者の義歯へのディマンドの高いことが推察された。

要介護となった原因疾患や希望する歯科治療によって口腔清掃状況に差のあることが認められたが、いずれにしても歯科治療を希望した要介護者の口腔清掃状況は良好とは言えない状況にあった。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

表1 原因疾患発病時期

西暦	全体%	男性%	女性%
2000	11.0	11.2	10.8
1999	11.5	13.7	10.1
1998	12.3	14.0	11.3
1997	9.3	9.5	9.2
1996	8.1	5.3	9.9
~1995	47.7	46.3	48.6
	100.0	100.0	100.0

表2 要介護状態発生時期

西暦	全体%	男性%	女性%
2000	19.4	19.1	19.5
1999	17.7	18.8	17.0
1998	15.2	15.9	14.8
1997	10.9	9.0	12.1
1996	7.1	7.6	6.7
~1995	29.7	29.6	29.8
	100.0	100.0	100.0

表3 歯科の主訴発生時期

西暦	全体%	男性%	女性%
2000	76.2	75.0	76.9
1999	11.7	10.6	12.3
1998	6.1	7.9	5.1
1997	2.5	2.7	2.4
1996	1.1	1.4	0.9
~1995	2.4	2.4	2.4
	100.0	100.0	100.0

表4 希望する歯科治療の主訴発生年

西暦	齲蝕	歯周	う蝕
2000	77.3%	70.0%	70.1%
~1999	22.7%	30.0%	29.9%
	100.0%	100.0%	100.0%

表5 原因疾患発症と歯科の主訴発生時期の差

時期の差(年)	齲蝕		う蝕		歯周	
	件数	時期の差(年)	件数	時期の差(年)	件数	時期の差(年)
0	99	0	14	0	22	0
1	60	1	20	1	27	1
2	61	2	19	2	20	2
3	46	3	19	3	26	3
4	29	4	13	4	13	4
5	26	5	11	5	14	5
6	22	6	6	6	10	6
7	18	7	8	7	6	7
8	16	8	5	8	6	8
9	14	9	9	9	11	9
10	23	10	6	10	8	10
11	15	11	5	11	4	11
12	15	12	4	12	7	12
13	6	13	1	13	2	13
14	10	14	2	14	6	14
15	6	15	4	15	5	15
16	10	16	1	16	2	16
17	2	17	1	17	1	17
18	2	18	1	18	1	18
19	5	19	2	19	4	19
20	3	20	3	20	2	20
21	2	21	2	21	4	21
22	2	22	3	22	1	22
23	2	23	3	23	1	23
24	4	24	1	24	1	24
25	4	25	1	25	1	25
26	2	26	3	26	1	26
27	1	27	1	27	1	27
28	1	28	1	28	2	28
29	1	29	1	29	1	29
30	1	30	1	30	1	30
31	1	31	1	31	1	31
32	1	32	1	32	1	32
33	1	33	1	33	2	33
34	1	34	1	34	1	34
35	1	35	1	35	1	35
36	1	36	1	36	1	36
37	1	37	1	37	1	37
38	1	38	1	38	1	38
39	1	39	1	39	1	39
40	1	40	1	40	1	40
41	1	41	1	41	1	41
42	1	42	1	42	1	42
43	1	43	1	43	1	43
44	1	44	1	44	1	44
45	1	45	1	45	1	45
46	1	46	1	46	1	46
47	1	47	1	47	1	47
48	1	48	1	48	1	48
49	1	49	1	49	1	49
50	1	50	1	50	1	50
51	1	51	1	51	1	51
52	1	52	1	52	1	52
53	1	53	1	53	1	53
54	1	54	1	54	1	54
55	1	55	1	55	1	55
56	1	56	1	56	1	56
57	1	57	1	57	1	57
58	1	58	1	58	1	58
59	1	59	1	59	1	59
60	1	60	1	60	1	60
61	1	61	1	61	1	61
62	1	62	1	62	1	62
63	1	63	1	63	1	63
64	1	64	1	64	1	64
65	1	65	1	65	1	65
66	1	66	1	66	1	66
67	1	67	1	67	1	67
68	1	68	1	68	1	68
69	1	69	1	69	1	69
70	1	70	1	70	1	70
71	1	71	1	71	1	71
72	1	72	1	72	1	72
総計	507		168		214	

表6 要介護状態と歯科の主訴発生時期の差

時期の差(年)	齲蝕		う蝕		歯周	
	件数	時期の差(年)	件数	時期の差(年)	件数	時期の差(年)
0	156	0	32	0	52	0
1	84	1	23	1	27	1
2	75	2	30	2	34	2
3	50	3	19	3	18	3
4	25	4	7	4	15	4
5	26	5	11	5	14	5
6	16	6	4	6	7	6
7	19	7	8	7	5	7
8	11	8	7	8	6	8
9	7	9	3	9	3	9
10	13	10	5	10	8	10
11	4	11	1	11	2	11
12	6	12	2	12	4	12
13	4	13	2	13	1	13
14	5	14	1	14	1	14
15	4	15	2	15	2	15
16	3	16	1	16	3	16
17	1	17	1	17	2	17
18	1	18	1	18	1	18
19	1	19	1	19	1	19
20	2	20	2	20	1	20
21	2	21	1	21	1	21
22	1	22	1	22	1	22
23	1	23	1	23	1	23
24	1	24	1	24	1	24
25	1	25	1	25	1	25
26	1	26	1	26	1	26
27	1	27	1	27	1	27
28	1	28	1	28	1	28
29	1	29	1	29	1	29
30	1	30	1	30	1	30
31	1	31	1	31	1	31
32	1	32	1	32	1	32
33	1	33	1	33	1	33
34	1	34	1	34	1	34
35	1	35	1	35	1	35
36	1	36	1	36	1	36
37	1	37	1	37	1	37
38	1	38	1	38	1	38
39	1	39	1	39	1	39
40	1	40	1	40	1	40
41	1	41	1	41	1	41
42	1	42	1	42	1	42
43	1	43	1	43	1	43
44	1	44	1	44	1	44
45	1	45	1	45	1	45
46	1	46	1	46	1	46
47	1	47	1	47	1	47
48	1	48	1	48	1	48
49	1	49	1	49	1	49
50	1	50	1	50	1	50
51	1	51	1	51	1	51
52	1	52	1	52	1	52
53	1	53	1	53	1	53
54	1	54	1	54	1	54
55	1	55	1	55	1	55
56	1	56	1	56	1	56
57	1	57	1	57	1	57
58	1	58	1	58	1	58
59	1	59	1	59	1	59
60	1	60	1	60	1	60
61	1	61	1	61	1	61
62	1	62	1	62	1	62
63	1	63	1	63	1	63
64	1	64	1	64	1	64
65	1	65	1	65	1	65
66	1	66	1	66	1	66
67	1	67	1	67	1	67
68	1	68	1	68	1	68
69	1	69	1	69	1	69
70	1	70	1	70	1	70
71	1	71	1	71	1	71
72	1	72	1	72	1	72
総計	515		164		209	

表7 主な原因疾患と口腔清掃状況(本人)

全体	脳血管疾患	心疾患	糖尿病	骨折	痴呆
本人が歯磨きを良くしていた	22.2%	37.6%	23.2%	36.7%	14.4%
本人があまりしなかった	38.8%	40.4%	48.2%	34.7%	39.9%
本人が全くしなかった	30.4%	15.6%	23.2%	19.4%	38.8%
無回答	8.6%	6.4%	5.4%	9.2%	6.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表8 主な原因疾患と口腔清掃状況(本人以外)

全体	脳血管疾患	心疾患	糖尿病	骨折	痴呆
介護者が歯磨きを良くしていた	23.9%	18.3%	10.7%	18.4%	26.1%
介護者があまりしなかった	42.0%	30.3%	37.5%	38.8%	44.1%
介護者が全くしなかった	23.5%	28.4%	30.4%	21.4%	21.8%
無回答	10.6%	22.9%	21.4%	21.4%	8.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表9 主訴と口腔清掃状況(本人)

全体	齲歯	う蝕	歯周
本人が歯磨きを良くしていた	29.6%	38.2%	29.0%
本人があまりしなかった	39.5%	35.3%	39.3%
本人が全くしなかった	24.2%	22.5%	27.7%
無回答	6.7%	4.0%	4.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

表10 主訴と口腔清掃状況(本人以外)

全体	齲歯	う蝕	歯周
介護者が歯磨きを良くしていた	21.7%	20.1%	20.1%
介護者があまりしなかった	37.9%	39.0%	41.6%
介護者が全くしなかった	26.5%	29.7%	26.7%
無回答	14.0%	11.2%	11.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

摂食障害発生要因・質問紙

1. 訪問歯科診療開始年月日（初診）
平成 年 月 （歯科医師名）
2. 回答者（ 1 本人、2 家族、3 その他）
3. 患者氏名
4. 性別 1 男 2 女 5. 年齢 歳
6. 希望する 歯科治療（主訴）
①義歯（ 1 修理・調整、2 新製、3 噛めない、4 疼痛、5 その他）
②う蝕（ 1 自発痛、2 咬合痛、3 冷水痛、4 その他）
③歯周（ 1 自発痛、2 咬合痛、3 腫脹、4 動揺、5 その他）
④その他（
7. 主訴の発生時期 1 昭和、 2 平成 年 月 日 頃
8. 要介護度（自立度）
①寝たきり度 1 正常、2 J1、3 J2、4 A1、5 A2、6 B1、7 B2、8 C1、9 C2
②痴呆度 1 正常、2 II a、3 II b、4 III a、5 III b、6 N、7 M
9. 要介護原因疾患（重複可）
1 脳血管疾患 2 悪性腫瘍 3 心疾患 4 外傷 5 糖尿病 6 骨折
7 痴呆 8 その他（
10. 原因疾患発病年月 1 昭和、 2 平成 年 月 頃 3 不明
11. 要介護状態となった年月 1 昭和、 2 平成 年 月 頃 3 不明
12. 入院・介護歴（発病からの経緯）
①入院 年 月間、②在宅 年 月間、
③施設利用（ 1 頻繁、2 時々、3 利用せず）
13. 要介護となる前のかかりつけ歯科医は
1 歯科医院、2 無し、3 不明、4 その他
14. 今回の歯科疾患（希望する治療）について、要介護となる前（元気な頃）はどうでした
①義歯：a 義歯は（ 1 あった、 2 無かった）
b 義歯は（ 1 良く噛めた、 2 噛みにくかった）
c その他（
②う蝕：a う蝕は（ 1 あった、 2 無かった）
b 痛むう蝕は（ 1 あった、 2 無かった）
c その他（
③歯周：a 動揺歯は（ 1 あった、 2 無かった）
b 腫脹は（ 1 あった、 2 無かった）
c 疼痛は（ 1 あった、 2 無かった） d その他（
④その他（
15. 要介護となってから今日に至るまでの口腔清掃の経緯
①本人が
（ 1 歯磨きを良くしていた、 2 あまりしなかった、 3 全くしなかった）
②介護者が
（ 1 歯磨きを良くしていた、 2 あまりしなかった、 3 全くしなかった）
16. 初診時口腔清掃状況
①食物検査（ 1 多い、 2 少ない） ②歯垢（ 1 多い、 2 少ない）
③舌苔（ 1 多い、 2 少ない）
17. その他特記事項

1		年	月	
2				
3				
4				
5		歳		
6	①	②		
	③			
7			年	月
8	①	②		
9				
10			年	月
11			年	月
12	①	年	月	
	②	年	月	
	③			
13				
	①	a	b	
14	②	a	b	
	③	a	b	c
15	①	②		
16	①	②		
	③			